

金沢まちづくり学生会議 [資料]

「学生がまちなかに来ない要因と呼び込むための対策」WS結果まとめ

- ・金沢まちづくり学生会議参加者を対象に、「学生が金沢のまちなかへ来ない要因」と「学生を呼び込むための対策」についてグループワークを実施 [R8.5.30 @学生のまち市民交流館]
- ・学生同士のインタビューや意見交換を通じて、交通、居場所、情報発信、娯楽、アルバイトなど多角的な視点から課題と改善策が整理された

■ 学生が金沢のまちなかへ来ない要因 –主な意見まとめ–

① 大学周辺で生活が完結している

- ・学生生活に必要な機能が大学周辺に集約されており、まちなかへ行く必要性を感じにくいという意見が多数あった。

② 行く理由・目的が不足している

- ・「友達と会う」「遊ぶ」「イベントに参加する」など、明確な目的がない限り、まちなかへ行かないという声が多く見られた。

③ 情報発信不足

- ・イベントやまちなかの魅力が学生に十分届いていないという指摘が複数グループで挙がった。

④ 若年層が居づらい雰囲気

- ・まちなか＝飲み屋街という印象を持つ学生も多く、特に1・2年生が居場所を感じにくいという意見があった。

⑤ 交通費・移動負担の大きさ

- ・学生は交通費に敏感であり、「そこまでお金をかけて行く理由がない」と感じているケースが多かった。

金沢まちづくり学生会議 [資料]

「学生がまちなかに来ない要因と呼び込むための対策」WS結果まとめ

■ 学生を呼び込むための対策 –主な意見まとめ–

① 学生の居場所・コミュニティ形成

- ・ 学生同士が交流できる
コミュニティスペース
- ・ 友人や恋人と行きたくなる場所づくり
- ・ デートスポット整備
- ・ 写真映えスポット整備

「人とのつながり」が来街動機になっている学生が多い

② イベント・娯楽機能の強化

- ・ 学生向けイベントの開催
- ・ 謎解きイベントなど回遊型企画
- ・ 冬季イルミネーション強化
- ・ ライブ会場・映画館・娯楽施設整備

「まちなかでしかできない体験」が求められている

③ 情報発信の強化

- ・ インスタ等SNSでの一元的な情報発信
- ・ 大学との連携による情報周知
- ・ 大学周辺店舗へのチラシ掲示

イベントそのものより、
「知られていない」ことが課題

④ アルバイトを通じた来街促進

- ・ 学生向け求人情報の発信強化
- ・ 高時給化によるまちなか勤務促進

「バイトをきっかけにまちなか」
という学生は多い

⑤ 交通支援・移動環境改善

- ・ 学生向けバス割引・回数券
- ・ 夜間バス運行の充実
- ・ シェアサイクルの拡充
- ・ 駐輪場の増設・周知
- ・ 自転車が安全に走れる環境整備

「気軽に行ける」環境づくりにより
来街ハードルを下げる必要がある